

令和3年8月5日

都市整備局国際園芸博覧会推進課

「国際園芸博覧会会場における概略検討業務委託」 契約結果

国際園芸博覧会会場における概略検討業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 国際園芸博覧会会場における概略検討業務委託
- 2 委託内容 会場における概略検討 等
- 3 契約の相手方 ランドスケープコンサルタンツ協会・三菱地所設計・梓設計 共同企業体
- 4 契約金額 149,996,000円
- 5 契約日 令和3年8月5日

6 評価結果

提案者	評価点数	順位
ランドスケープコンサルタンツ協会・三菱地所設計・梓設計 共同企業体	1,068	1
株式会社オリエンタルコンサルタンツ 神奈川事務所・株式会社コンテンポラリーズ 共同企業体	861	2

7 評価委員会開催経過等

委員会開催日時	令和3年6月9日(水)13時20分から15時45分	
委員会開催場所	国際園芸博覧会推進課大会議室1・2	
評価委員の出席状況	評価委員8名中8名出席	出席者数
		8/8
事務局	都市整備局国際園芸博覧会推進課	
議事内容	・プロポーザル評価委員会までの経緯について ・受託候補者の選定について(ヒアリング) ・提案書及びヒアリングを踏まえた評価及び結果の確認	

8 評価基準 別紙のとおり

9 問い合わせ先 横浜市都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当:岩ヶ谷、吉野 TEL:045-671-4627

「国際園芸博覧会会場における概略検討業務委託」に関するプロポーザルに係る
提案書評価基準

表1の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。
各評価項目の評価の着目点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実施 体制 (40)	管理技術者	同種・類似の業務実績	15		
	担当技術者	業務遂行に必要な資格（一級建築士、当該業務に関連する部門の技術士）を有する技術者が適正数配置されているか	10		
		同種・類似の業務実績	10		
		市内中小企業に該当しているか	5		
ワーク・ ライフ・ バランス に関する 取組等 (6)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、若者雇用促進法に基づく認定の取得、よこはまグッドバランス賞の認定の取得		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.2%を達成している（従業員45.5人以上）、又は障害者を1人以上雇用している（従業員45.5人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証		1		
業務実施 方針等 (120)	提案内容	これまでの検討状況を踏まえ、国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解し、本業務の実施方針、体制や業務全体の進め方（国際園芸博覧会等の事業特性に関するアドバイザー等の協力体制を含む）が明確で適切な提案がされているか。	20		
		これまでの検討状況を踏まえ、現地の自然環境ポテンシャルを活かしたグリーンインフラのハード整備及びソフト展開について、具体化を図る上での課題を明確にし、検討の視点と方向性が提案されているか。	30		
		開催期間中に1,500万人の参加者規模を想定していることを踏まえ、多様なコンテンツの集合体であるVillageを含む会場構成及び施設計画の具体化に必要な検討の視点と方向性は、具体的かつ実現性のある提案がされているか。	25		
		国際園芸博覧会の事業特性を踏まえ、会場整備における新技術等の導入に関する検討の視点と方向性は、具体的かつ実現性のある提案がされているか。	25		
	ヒアリング	理解度・専門技術力があるか	10		

		取り組み意欲が感じられるか	10		
評価点の合計 (166 点)					

評価方法

- (1) 「業務実施体制」及び実務実施方針等のうち「ヒアリング」については、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 「業務実施方針等」（「ヒアリング」項目を除く）については、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
配点にA = 5/5、B = 4/5、C = 3/5、D = 2/5、E = 1/5を乗じて算出する。
- (4) 「ワーク・ライフ・バランスに関する取組等」については、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 「業務実施方針等」においてE評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 「業務実施体制」及び「ワーク・ライフ・バランスに関する取組等」については、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 「業務実施方針等」については、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 上記の合計点数を全員分集計し、その「合計点」を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で166点とし、評価委員全員の合計で166点×8名 = 1,328点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、「業務実施体制（市内中小企業への該当）」及び「ワーク・ライフ・バランスに関する取組等」については、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 評価委員が欠席した際には、「業務実施方針等」の評価点を72点として取り扱う。
- (13) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC（ $20 \times 3/5 = 12$ 点）とする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実施体制	管理技術者	同種・類似の業務実績は十分か	国際博覧会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベントの会場全体にかかる計画立案、設計の業務実績を有する		国際博覧会や東京オリ・パラ大会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベントの会場個別施設にかかる計画立案、設計の業務実績を有する		A又はCに該当しない
	担当技術者	業務遂行に必要な資格（一級建築士、当該業務に関連する部門の技術士）を有する技術者が適正数配置されているか	業務遂行に必要な資格を有する技術者が5名以上配置されている		業務遂行に必要な資格を有する技術者が3名以上配置されている		A又はCに該当しない
		同種・類似の業務実績は十分か	国際博覧会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベントの会場全体にかかる計画立案、設計の業務実績を有する		国際博覧会や東京オリ・パラ大会又は地方博覧会、全国緑化フェア等の国内大規模イベントの会場個別施設にかかる計画立案、設計の業務実績を有する		A又はCに該当しない
		市内中小企業に該当しているか	該当している				該当していない
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等	表1の「評価の着目点」に記載した各項目について1つ満たすごとに1点を加算する						
業務実施方針等	提案内容	これまでの検討状況を踏まえ、国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解し、本業務の実施方針、体制や業務全体の進め方（国際園芸博覧会等の事業特性に関するアドバイザー等の協体制を含む）が明確で適切な提案がされているか	十分な理解に基づいた明確な提案である	一定程度理解に基づいた明確な提案である	どちらもいえない	理解がやや乏しい提案で、妥当性に欠ける	理解が乏しく、妥当ではない
		これまでの検討状況を踏まえ、現地の自然環境ポテンシャルを活かしたグリーンインフラのハード整備及びソフト展開について、具体化を図る上での課題を明確にし、検討の視点と方向性が提案されているか	十分な理解に基づいた課題認識で、検討の視点と方向性は具体的で実現性の高い提案である	一定程度理解に基づいた課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性のある提案である	どちらもいえない	理解がやや乏しい課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性に欠ける提案である	理解が乏しい課題認識で、検討の視点と方向性は妥当性がない提案である
		開催期間中に1,500万人の参加者規模を想定していることを踏まえ、多様なコンテンツの集合体であるVillageを含む会場構	検討の視点と方向性は具体的で実現性が高い	検討の視点と方向性は具体的で実現性の高い	どちらもいえない	検討の視点と方向性の一部は具体性や実現性	検討の視点と方向性は具体性や実現性に欠け

		成及び施設計画の具体化に必要な検討の視点と方向性は、具体的かつ実現性のある提案がされているか	く、かつ創意工夫された提案である	提案である		に欠ける提案である	る提案である
		国際園芸博覧会の事業特性を踏まえ、会場整備における新技術等の導入に関する検討の視点と方向性は、具体的かつ実現性のある提案がされているか	検討の視点と方向性は具体的で実現性が高い、かつ創意工夫された提案である	検討の視点と方向性は具体的で実現性の高い提案である	どちらもいえない	検討の視点と方向性の一部は具体性や実現性に欠ける提案である	検討の視点と方向性は具体性や実現性に欠ける提案である
	ヒアリング	理解度・専門技術力があるか	十分な理解に基づいた確かな提案である		どちらもいえない		理解が乏しい提案である
		取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる		どちらもいえない		意欲が認められない